



現代社会を支える情報・科学技術の発展を担う数学の専門家を養成するための教育を展開

数理科学科

Department of Mathematical Sciences

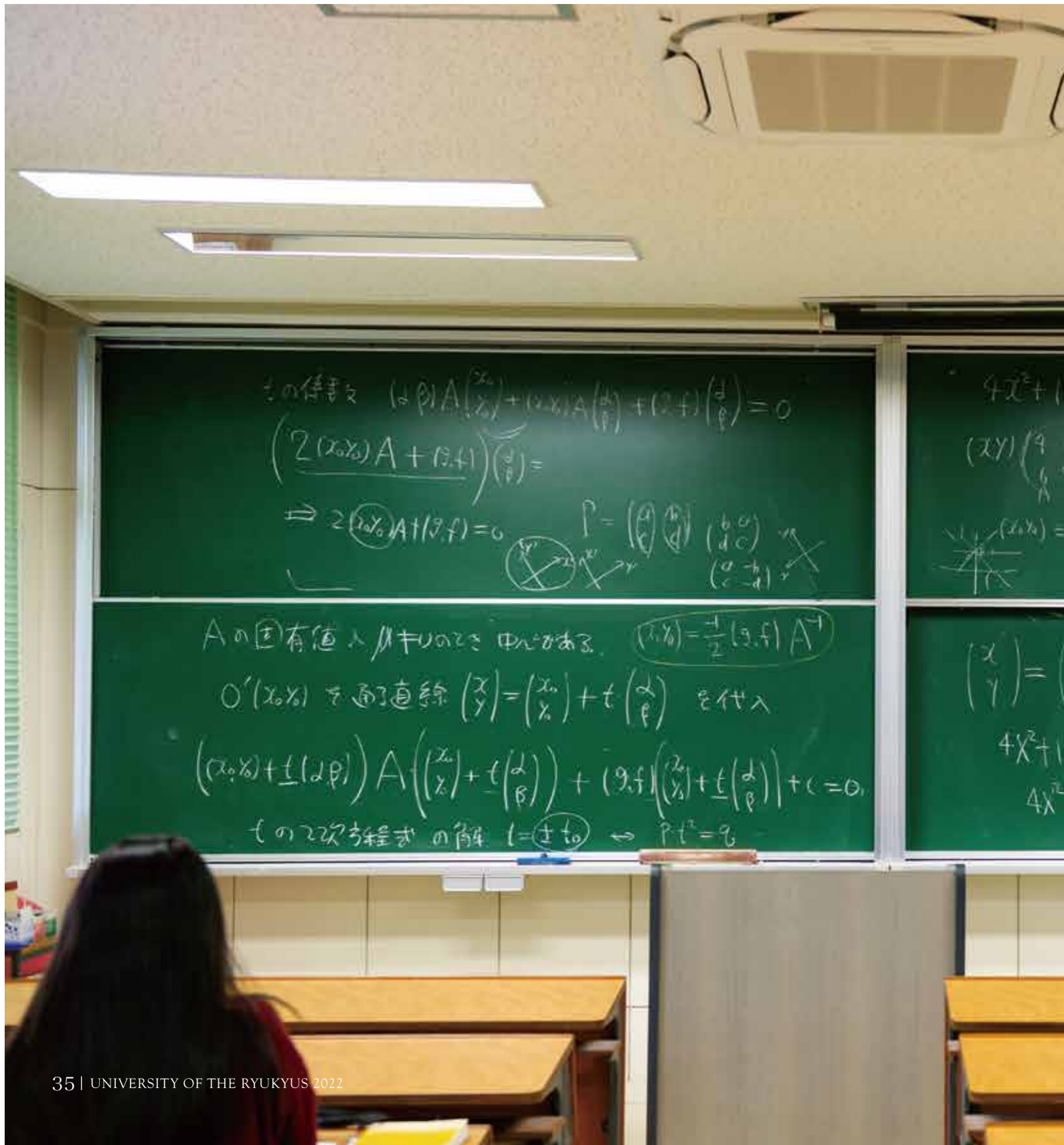
Admission Policy [求める人材像]

数理科学科では教育理念に基づいて、次のような人を求めています。

- 基礎的な数学の知識・思考力を備えている人
- 未知の数学に対する好奇心が旺盛である人
- 強い勉学意欲を持ち、積極的に数学を学び、修得した知識や技術等を社会に役立てたい志のある人

研究分野

- 代数幾何学
- 関数解析学
- 整数論
- 暗号理論
- 位相幾何学
- 特殊関数論
- 双曲幾何学
- 組合せ論
- 作用素環論
- 表現論
- 大域解析学
- 確率論
- 数理統計学



高校で学ぶ三角関数や微分積分は医療機器であるCTスキャンに応用されています。インターネットの暗号通信には整数論や符号理論が使われています。確率論は経済学に応用され、保険数理人(アクチュアリー)になるには統計や確率の学修が必須です。このように、現代社会を支える情報・科学技術の運用には“大学で数学を修めた人材”が必要不可欠とされており、数理科学科ではコンピュータ関連をふくむ広範囲な分野の数学が学べるようになっています。また、数理科学科では中学校や高校の数学教員の養成も目標のひとつにしており、生徒が抱きがちな「なぜ数学をまなぶのか?」という疑問に向きあい、答えることができる教育理論の修得にも注力しています。